

8月 月例報告書

1. はじめに

まず、この報告書を読む人は英語圏への留学に興味がある人が主であると思います。なので、それらの人々に向けて、私の8月がどのようなようであったか、留学準備からアメリカ到着後、そして現在の生活に至るまでを整理していきたいと思います。

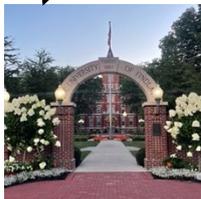
2. 出国前準備

留学に向けた準備は、ひとことで表すと「忙しい」です。ビザやI-20の取得、またこれらを発行するために大使館を訪れる必要があることや、フィンドレー大学に残高証明書やパスポート等を送る必要があります。そして、ケータイのキャリアの変更や航空券の手配、保険、クレジットカードの作成など本当に大変でした。それに加え、期末試験やレポートも両立する必要があるため、可能な限り早めに行動することが重要となります。静岡文化芸術大学とフィンドレー大学は協定校を結んでいます。ですが、コロナウィルスの流行により、一昨年まで留学がストップしていたからなのか、準備の進め方や何が必要であるかは、フィンドレー大学からの連絡を待つか、自身で調べる、昨年留学した方々から教えてもらうということがほとんどでした。初めての留学、初めての海外だった私にとって、留学に向けて準備する期間でさえも成長できた時間でした。



デトロイトまで
10343km

Old Main



3. 到着後の生活

私たち留学生は、羽田空港から出ている直行便に乗り、12時間のフライトを経てデトロイト空港に到着しました。円安やちょうど夏休みが始まる時期だったことから航空券がとても高く、フィンドレー大学に伝えられた日付の前日に到着する便を選択し、近くのホテルで1泊しました。到着後は本当に疲れていたため、一度ホテルで体を休め、学校に向かうことができ、よかったです。空港からはフィンドレー大学の方のお迎えで学校に向かいました。大学に到着後すぐに各自ハウスに入ります。私は、寮ではなく、キャンパス内のシェアハウスに住むことにしました。ハウスには9人の学生が住んでおり、私は2人部屋を使用しています。そのうち、私を含めた2人が日本人でその他7人はネイティブスピーカーです。シェアハウスでの生活は、ハウスメイトとリビングでお話し、交流することができるため、おすすめです。キャンパスに到着後、約1週間はオリエンテーション week となります。様々なアクティビティを通して、他の留学生と交流をすることができることに加え、私たちは「freshman」といって、1年生扱いなので、新入生と一緒に入学式に参加します。他にも、新入生たちと一緒にボランティア活動をし、学校にある団体やサークルの説明等も受けます。授業料に関しては、キャンパスに到着後、支払うため、このオリエンテーション week の期間は新鮮で楽しくもあり、慌ただしい1週間でした。



ハウスメイトが連れて
行ってくれたコーヒー

キャンパス内の色んなと
ころにいるリス





My House



友人と出場した Sand Volleyball Tournament

フィンドレー大学が位置するオハイオ州は、8月はとても気候が良く、自然豊かです。日本の8月は蒸し暑く、ひどい湿気ですが、ここは涼しく過ごしやすいです。リスやウサギをキャンパス内で見られることもできます。治安が良く学校のカラーであるオレンジと白の花が植えられていることもとても素敵だと感じます。一方で、決して都会ということではなく、公共交通機関もありません。なので、ほとんどの学生は車を所有しています。そのため、車を持たない私は日々の遊びや買い物を、ネイティブや車を持っている他の留学生の友達に連れて行ってもらっています。フィンドレー大学には様々な国にルーツを持つ留学生がいます。日本人はもちろん、インドやバングラディッシュ、ベトナム、ドイツ、中国、コロンビア、ベネズエラ、フィリピン、韓国、ネパールなど私が知っているだけでも多くの国出身の学生がいます。アメリカ出身のネイティブスピーカーだけでなく、多様な国に友人を作ることができることもフィンドレー大学に留学することの魅力の1つだと思います。

4. 授業について

私は IELP (Intensive English Learning Program) の授業をコースの授業を履修しています。IELP とは英語学習者向けのプログラムです。留学生は、IELP のクラス分けのためにテストを受けます。私は Intermediate クラスになりました。IELP の授業は、Composition, Grammar, Listening, Communication, Reading の5つの授業があります。もちろん課題も出ますが、先生方はとても優しく、自由な授業をしてくださるため、楽しく英語を学ぶことができます。コースの授業は、歌が得意ではない私にとって、難しく感じることも多いですが、友人を作る機会にもなっており、新たな挑戦をしてよかったと感じています。また、Kpop クラブにも所属しています。

5. まとめ

8月はこれまでの私の人生の中で最もと言って良いほど濃い1ヶ月でした。出国準備段階では、不安や心配も多くありましたが、家族や友人、様々な人に支えていただき、今まで自分は多くの素敵な人たちに囲まれて生活していたことに気づくことができました。また家族や友人の大切さに気付かされ、これまでの自身の人生を振り返るきっかけとなりました。アメリカに来てからも、日本にいたら出会はずのなかった素敵な友人たちと出会うことができ、様々な経験をし、留学をすることができてよかったと実感する毎日です。また、自分がマイノリティの立場になったことで視野が広がったように感じます。フィンドレーの人たちはとても優しく、私たち留学生が多くのことを経験できるよう手助けをしてくれ、彼らのおかげで充実した日々を送ることができています。8月は遊びに勉強に忙しい毎日だったので、風邪をひいてしまうこともありました。9月は健康に気をつけて、もっと英語力を伸ばしていきたいです。



アメリカは花までビッグサイズ



